



吹雪の中、歩みを進める隊員(写真:救助隊提供)

冬の岩手山で救助訓練

八幡平遭難対策委員会捜索救助隊厳冬期訓練

八幡平遭難対策委員会捜索救助隊の厳冬期遭難救助訓練が2月1、2の両日、岩手山で行われました。訓練は、厳冬期の高所山岳遭難事故に備え、高橋時夫隊長ら10人が参加。滝沢市の岩手山馬返し登山口を出発し、8合目避難小屋で1泊、山頂から焼走り登山口までのコースをたどりました。山頂付近では、風速26m/sに見舞われ視界不良になるなど、厳しい訓練となりましたが、隊員は、体力と救助技術の向上、知識の習得など、さまざまな経験を積みました。



子どもをそりに乗せ雪上を一生懸命走りました

冬ならではの遊び満喫

八幡平・安比ゆきフェスティバル

八幡平・安比ゆきフェスティバルのメインイベントが2月15、16の両日、さくら公園で開かれました。15日には、「親子でスノーカーニバル」を開催。雪玉で的を倒してからゴールを目指す競争や子どもを乗せたそりを親が引くレースなどが行われ、参加者は大いに盛り上がりました。2日間を通して会場は、雪の滑り台で遊ぶ子どもたちや、アニメキャラクターなどの雪像前で記念撮影する人など、多くの家族連れでにぎわいを見せていました。



雪の滑り台を楽しむ子どもたち

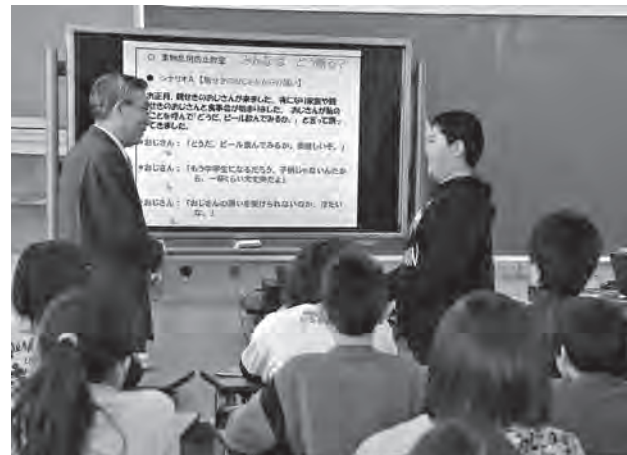


雪だるまコンテストの作品

私は絶対にやりません

平舘小学校薬物乱用防止教室

平舘小学校薬物乱用防止教室(西根ライオンズクラブ主催)が2月7日に行われ、5・6年生39人が薬物などの危険性について学びました。防止教室では、岩手県警察スクールサポーターの下村進氏が、「薬物などは自らやろうとする人より、誘われて始める人がほとんど。いかに断るかが大事です」と講演。同クラブの菅野正孝事務局長と児童が、「もし、お酒を勧められたら」という設定で役を演じ、疑似体験をしながら断り方を学習しました。



菅野正孝事務局長と児童が役になりきり実演



田村正彦市長の講演を真剣に聞く松尾中学生徒

ふるさとの未来考える

松尾中学校で田村正彦市長が講演

2月3日、松尾中学校で、田村正彦市長が「八幡平市の未来を担う君たちへ」と題し、全校生徒に講演を行いました。この講演は、ふるさとの文化や産業を学ぶ同校の『「農と輝の大地」学習推進プロジェクト』の一環として実施。田村市長は、「市の発展には、君たちの若い力が必要です」と、生徒に期待を込めて講演しました。中央執行委員長の澤村汰君(2年)は、「市を担っていけるよう頑張りたい」と、力強く語りました。



スライドで被災時のボランティア活動を紹介

体験談聞き意識高める

市ボランティアの集い

市ボランティアの集いが2月7日、市総合福祉センターで開催されました。当日は、市民の皆さんや関係者ら約250人が参加。盛岡市と雫石町の各社会福祉協議会職員と平舘高校の竹田千晶さん(3年)が、昨年8、9月の大雨・台風被害に遭った際のボランティア活動について講演しました。参加者は、災害時の一人一人の役割や協力体制、直面した課題についての体験談に、熱心に耳を傾けていました。

すなっぷギャラリー



岩手大学地域連携フォーラムで25年度の活動を報告(2月26日、西根地区市民センター)



西根中学校3年の吉田皇君が相撲大会「白鵬杯」での3位入賞を田村正彦市長に報告(2月4日、市役所)



市ジュニアスキー選手権大会で安代小学校6年の齋藤慶吾君が選手宣誓(日程、成績などは14、15頁)



大更小学校プラスバンド部がメモリーズコンサートを開催(2月22日、大更小学校体育館)



市西根地区芸能まつりで平舘田植え踊りを披露(2月2日、西根地区市民センター)